

## 事業の基礎情報

実施主体	名古屋市MaaS推進協議会
事業実施地域	名古屋市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	商業・農業 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	名古屋市, 名古屋鉄道, 西福田さいこうプロジェクト推進協議会 (地域住民団体), 東海国立大学機構名古屋大学, 中央復建コンサルタンツ, イオンモール名古屋茶屋, イオン南陽店
運行形態	AIオンデマンド交通 (道路運送法21条)
運行主体	名鉄タクシーホールディングス, 名古屋近鉄タクシー

## 現状・課題

## (地域交通の現状・課題に関する分析)

- 名古屋市は、公共交通が概ね市域全域を担っており、さらに敬老パス交付による高齢者の社会参加支援がなされている。一方で、**市境に近い地区に公共交通空白地が分布**しており、交通課題解決にあたっては、地域主体の取組に対する支援制度を構築し、活用してもらうことで、地域のニーズに応じた移動手段の確保・充実をはかることを「**名古屋市地域公共交通計画 (2024年3月策定)**」で位置付けている。
- 移動ニーズの把握、運行内容の検討を始めるなど、地域が主体となって取り組む「**西福田学区**」をモデルケースに、公共交通空白地を対象とした**交通支援制度の構築**に向けた検討を開始している。交通課題解決には、AI技術の活用、サービス連携で既存の公共交通の補完と利便性向上を図る。
- 隣接地区にある商業施設が併設する**バスターミナルの活用** (買い物その他、路線バスに乗換えて都心ゾーンへの移動促進)、外出促進や公共交通利用促進として商業施設のクーポン発行や健康増進教室の開催など、**産官学連携によるデータ駆動型のサービス共創**が期待されている。

地域公共交通計画への位置づけ  
(位置づけ予定を含む)

有

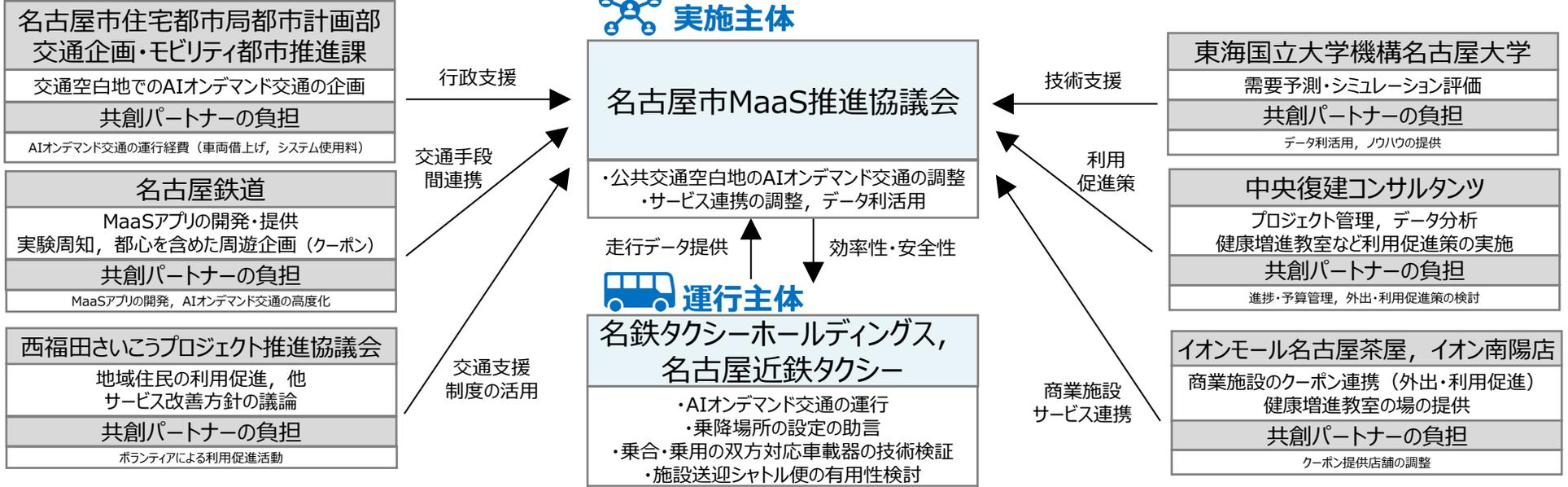
運輸局・運輸支局への事前相談

中部運輸局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

### 事業の全体像・共創の仕組み



### 取組の概要

#### (事業の概要)

- ・名古屋市内の公共交通空白地にて住民主導・行政支援のAIオンデマンド交通の導入を目指し, 数ヵ月間の有償の実証実験を実施。
- ・名古屋市が保有する移動データ, 利用実績データや利用意向調査データを整理し, 来年度以降のサービス改善の方針を地域住民や交通事業者と議論。
- ・外出促進と公共交通利用促進としてMaaSアプリの導入, タクシー利用の高度化として乗合・乗用の双方の配車依頼対応システムの技術検証を実施。

#### (地域の関係者との連携・協働)

- ・地域主体の取組として, 住民による利用促進 (声かけ) やサービス提供協力 (デマンド用バス停の維持・管理) を予定。
- ・商業施設と連携した利用促進策として, クーポン発行や健康増進教室 (フレイル予防効果検証) の開催を予定。

#### (地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

- ・隣接地区にバスターミナルと住民の移動ニーズが高い鉄道駅があり, 乗換抵抗軽減 (施設・モビリティハブの発着を想定したシャトル便による定時制確保) やMaaSアプリにて目的地側の商業施設クーポン発行による利用促進策を実施し, 都心ゾーンのシェアサイクルを含めた既存公共交通との連携を強化。

### 事業実施手順・スケジュール

#### 【交通空白地のAIオンデマンド交通（西福田地区周辺）】

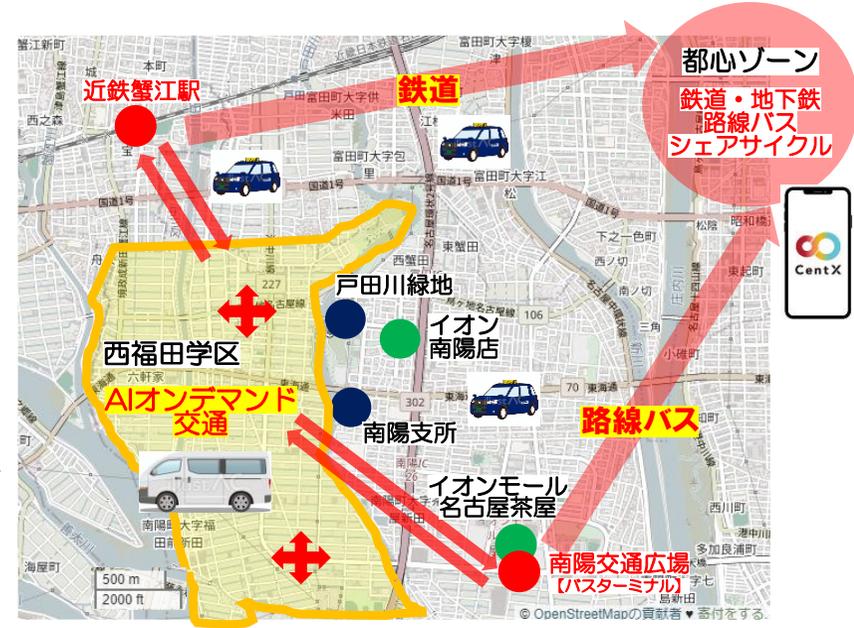
- ・地域住民と実証実験の内容調整（乗降場所，協力体制，等）
- ・地域公共交通会議，許可申請（実証実験：11月～2月の有償実験）
- ・タクシー利用高度化（乗合・乗用の統合型システムの技術検証，シャトル便（近鉄蟹江駅・バスターミナル発着便）の効率性・受容性の検討）
- ・利用満足度・意向のアンケート調査（地域住民向け，商業施設来訪者向け）
- ・サービス改善の方向性整理，シミュレーション評価，事業モデル・支援体制の検討

#### 【外出促進・健康増進（西福田地区周辺）】

- ・商業施設のクーポン発行（MaaSアプリへの組込み）

#### 【公共交通利用促進（都心ゾーンを含む外出促進）】

- ・都心ゾーン(名古屋駅, 金山駅, 名古屋城, 熱田神宮, 他)の商業施設のクーポン発行（MaaSアプリ，公共交通利用者は差別化予定），利用実績（周遊行動）データ収集
- ・MaaSアプリ利用者を対象とした公共交通利用促進策の利用状況・満足度調査



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
名古屋市	実証の企画，許可関連調整							実証運行				
名古屋鉄道	MaaSアプリの開発			MaaSアプリ運用， 実験周知，都心ゾーンとの連携				サービス改善 MaaSアプリ調査				
西福田さいこう プロジェクト推進協議会	AIオンデマンド交通実験の調整						利用促進活動					サービス改善 検討
名古屋大学， 中央復建コンサルタンツ	地域住民・関係者調整， 運行計画作成，他				利用実績・アンケート調査データ分析， シミュレーション評価							
イオンモール名古屋茶屋， イオン南陽店	クーポン調整											

### 取組の詳細

#### (地域交通にもたらされると想定される効果)

- ・自家用車の運転が不安な居住者は、公共交通サービスの利用と運転免許返納を検討しはじめる
- ・地域公共交通を「自分ゴト」として考え、公共交通サービスの利用頻度が増加しはじめる
- ・新たなタクシーの活用方法として、運転手など担い手が増加しはじめる

#### (地域全体に及ぶと想定される効果)

- ・居住者の外出頻度の現状維持・増加，地域のコミュニティ形成・つながり強化に伴うWell beingの向上
- ・クーポン発行の商業施設の来店頻度増加，売上増加，広告費の削減（データ活用の効果）
- ・名古屋市都心ゾーンの公共交通利用訪問者の増加，道路混雑の緩和，歩行者増加によるにぎわい創出（ウォーカブルなまちづくりへの貢献）

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

<input type="radio"/>	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	<input type="radio"/>	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
<input type="radio"/>	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	<input type="radio"/>	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

#### (補助事業実施後の予定)

- ・本年度の事業効果検証結果を踏まえ、持続可能な交通とするための運行内容の見直しや各関係者との調整を行い、有償の実証実験を来年度も実施する。効果検証結果とあわせ、地域の取組に対する支援のあり方を検討し、交通支援制度を構築する。
- ・新たな移動手段を活用した市域全域の公共交通サービス水準確保の可能性について検討し、必要に応じてその展開を図ることで、将来にわたって持続可能な公共交通の確保を目指す。

##### ①供給量の柔軟性と効率性の向上

⇒タクシー借上げ台数は必要最低限とし、乗合・乗用の切替車載システムでのサービス補完、モビリティハブに即したシャトル便（乗継割引他）の検討

##### ②地域が集めたまちづくり協賛金他の活用方法の検討（クーポンの多様化・差別化，データ活用方法などインセンティブ設計）

資金面	名古屋市のAIオンデマンド交通実証実験費，名古屋鉄道のMaaS実験プロモーション費
人材面（運転手の確保）	地元タクシー会社からジャンボタクシー1台の借上げするとともに、待ち時間が長くなる場合には、乗合・乗用の双方の配車依頼に対応できるタクシー配車システムの試行，さらに複数のタクシー会社との連携で、確実に運転手確保する